

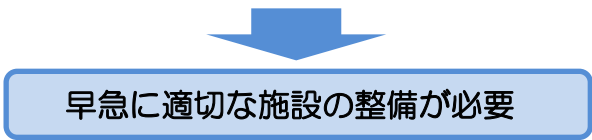
佐賀市埋蔵文化財センター基本構想・基本計画（案）について

I 基本構想

1 背景

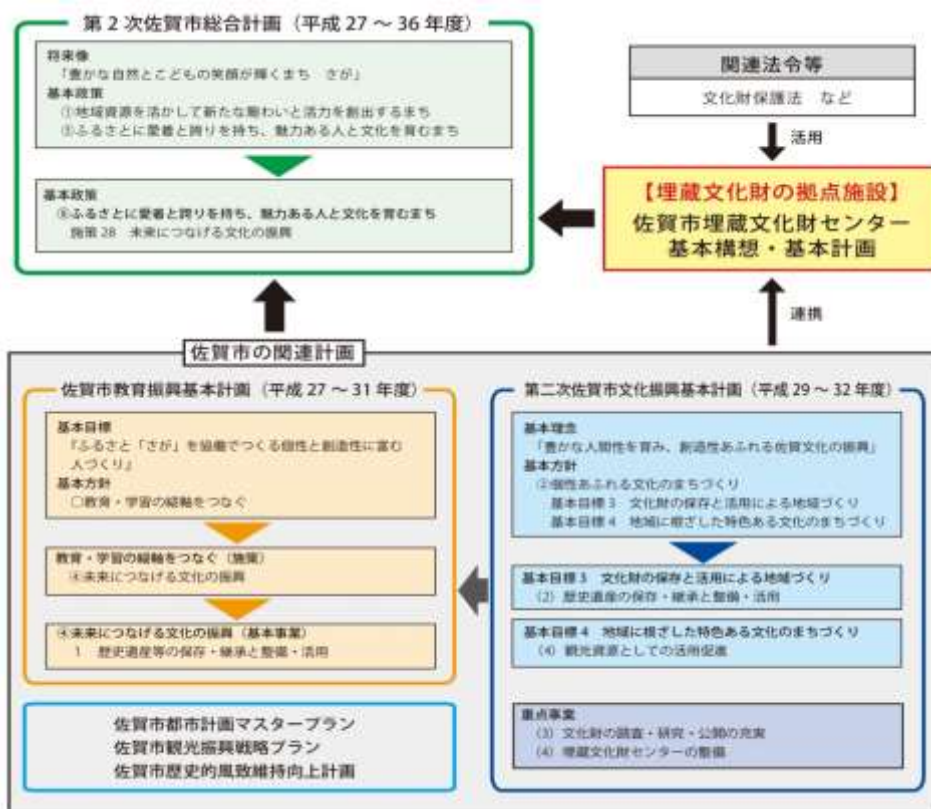
(1) 埋蔵文化財の現状と課題

- 佐賀市では、これまでに文化財保護法に基づき、様々な開発に伴う発掘調査を実施し、膨大な出土資料の蓄積があるが、適切な収蔵保管、十分な公開活用が図れないまま現在に至っている。
- 現在、埋蔵文化財調査の拠点となっている佐賀市文化財資料館は老朽化が進んでおり、適切な保管や安全面から支障をきたす状況になりつつある。
- 近年、東名遺跡や三重津海軍所跡など、全国的にも注目を集める遺跡の発見が相次ぎ、市民からもこれらの貴重な文化財を総合的に活用することができる施設を求める声が高くなっている。



(2) まちづくり計画での位置づけ

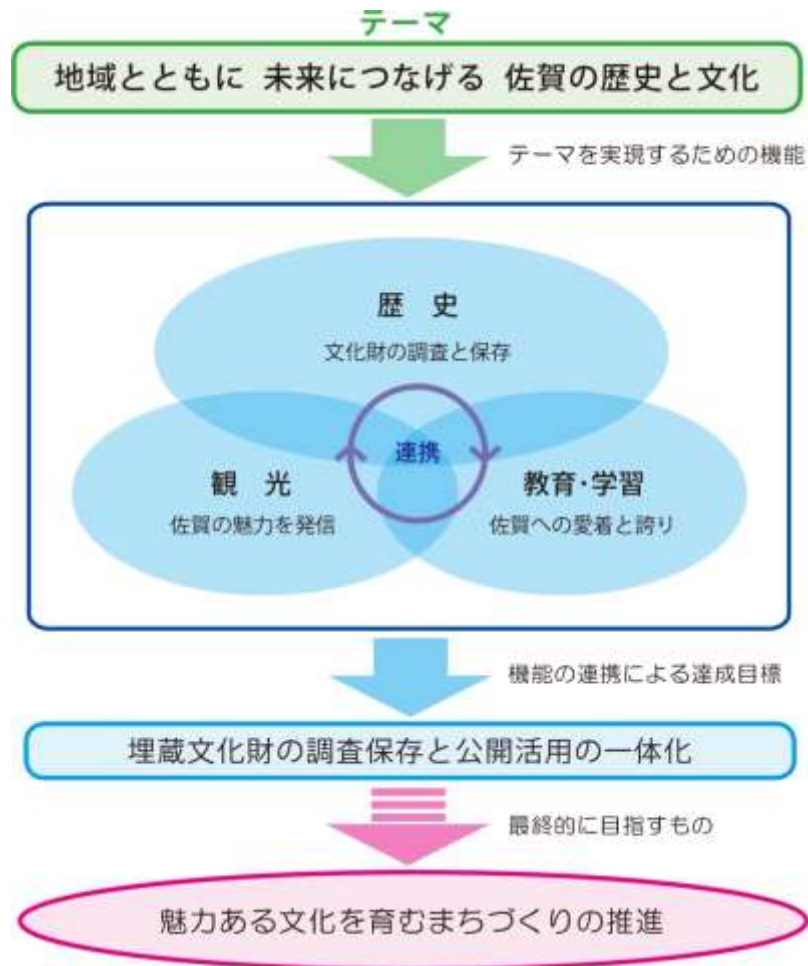
佐賀市のまちづくりに関する計画において歴史遺産の持つ意義は大きく、佐賀市埋蔵文化財センターは、それらの計画を推進する核となる施設として位置付ける。



2 基本方針

(1) 施設の位置づけ

「地域とともに 未来につなげる 佐賀の歴史と文化」をテーマに、「歴史」「教育・学習」「観光」の3つを主要な柱とした機能を連携させることで、埋蔵文化財の調査保存と公開活用の一体化を目指し、埋蔵文化財の拠点施設として整備する。



(2) 施設の機能

①歴史 —文化財の調査と保存—

埋蔵文化財の発掘調査を実施し、出土した遺物の適切な収蔵保管を図るとともに、調査成果を教育普及・展示公開に活かすことにより、調査保存と公開活用を一体的に進める。

→「発掘調査」「調査研究」「資料収集」「資料保管」「展示公開」を実施。

②教育・学習 —佐賀への愛着と誇り—

郷土学習や歴史学習を通じて、市民のふるさとの誇りと愛着心を醸成する。

→「学校教育支援」「生涯学習支援」「体験学習」を実施。

③観光 —佐賀の魅力を発信—

佐賀の独特な風土の中で育まれた歴史文化を紹介し、佐賀の魅力を発信する。

→「情報発信」「イベント企画」を実施。

Ⅱ 基本計画

1 施設計画

(1) 施設整備の方針

- 「歴史」「教育・学習」「観光」の各機能が連携し、埋蔵文化財の調査保存と公開活用の一体化を図ることができる施設整備を行う。
- 屋外スペースとの有機的な活用が可能な施設構成とする。
- ユニバーサルデザインの視点から、様々な来館者が利用しやすい施設を目指す。

(2) 施設構成

「収蔵エリア」「調査研究エリア」「展示エリア」「普及活動エリア」「共用エリア」「管理運営エリア」の6つのエリアを設定。安全・安心な動線の構築と諸室配置を行う。

区分	エリア	諸室	概要	見込面積 (㎡)	割合
歴史	収蔵	一般収蔵庫	整理済み1種資料の収蔵と整理中資料の仮保管も行う。将来的な資料の増加に備えた広さを確保する。一部で収蔵展示も行う。	450	約 23%
		特別収蔵庫	重要文化財など温度度を常に測定、管理する必要がある重要な資料を収蔵する。収蔵庫への搬出入の際の慣らし、シーリングに必要な前室を含む。		
		荷解室	出土品や収蔵品の搬出・搬入を行う際に必要。出土品の仮保管場所としても使用する。		
		トラックヤード	出土品や収蔵品の搬出・搬入を行う際に物品の安全性を確保するために必要。		
	調査研究	整理室	発掘調査で出土した遺物の整理・復元・実測、調査記録の整理、報告書作成作業を行う。復元室と実測室の2室構成とする。	350	約 17%
		撮影室	報告書及び展示図録などに必要な遺物の写真撮影を行う。		
		図書資料室	寄贈図書、刊行図書及び発掘調査に関わる図面・写真資料等を保管する。また、基本的に図書資料以外は一般に開放しないため、保管方法に配慮する。		
	展示	ダイナミック展示	貝層立体剥ぎ取りなど、ダイナミックな展示をホールで行うことで、来館者にインパクトを与える。	500	約 25%
		通史展示室	映像を活用したプロローグと一体的な通史展示を行う。		
		テーマ展示室	重要文化財級の遺物が展示の中心となるため、空調設備で温度管理ができる特別展示室とする必要がある。		
		企画展示室	年数回の展示更新を想定。可変性のある展示が可能となるように、可動展示ケース・可動壁等の導入を検討する。		
		展示準備室	展示を行うための什器の保管と展示に関する簡易的な作業を行う。		
教育・学習	普及活動	多目的室	体験学習や講演会・講座等の多目的な学習や施設に関する様々な活動スペースとして使用。	250	約 13%
		体験学習室	水道・加熱設備を備えた空間で、主に体験学習に使用する。遺物洗浄室としても使用可能。		
		活動室	市民サポーターなどの打合せ室・休憩室・控え室。		
観光	共用	ホール・ロビー	来館者を迎える空間で、市内の観光資源をはじめとした様々な情報発信も行う。学校などの団体に対応できる広さを確保する必要がある。	350	約 17%
		情報発信スペース	市内の文化遺産情報を発信する。「先史・古代エリア」のガイダンス、見学ルートの紹介や「山の文化エリア」「近世・幕末エリア」へ誘導する。吉野ヶ里遺跡をはじめとした近隣遺跡との連携を図った情報発信も行う。ホール内に設置する。		
		廊下等	来館者や館内関係者が共同使用する。各部署への通路。		
		トイレ	来館者や館内関係者が共同使用する便益施設。		
管理運営		事務室・会議室	施設の管理・運営や来館者への対応を行う。協議・打合せを行う。	100	約 5%
		機械室	照明や空調など、施設の運用に欠かせない設備の管理を行う。		
			合計	2,000	100%

(3) 設置場所に関する方向性

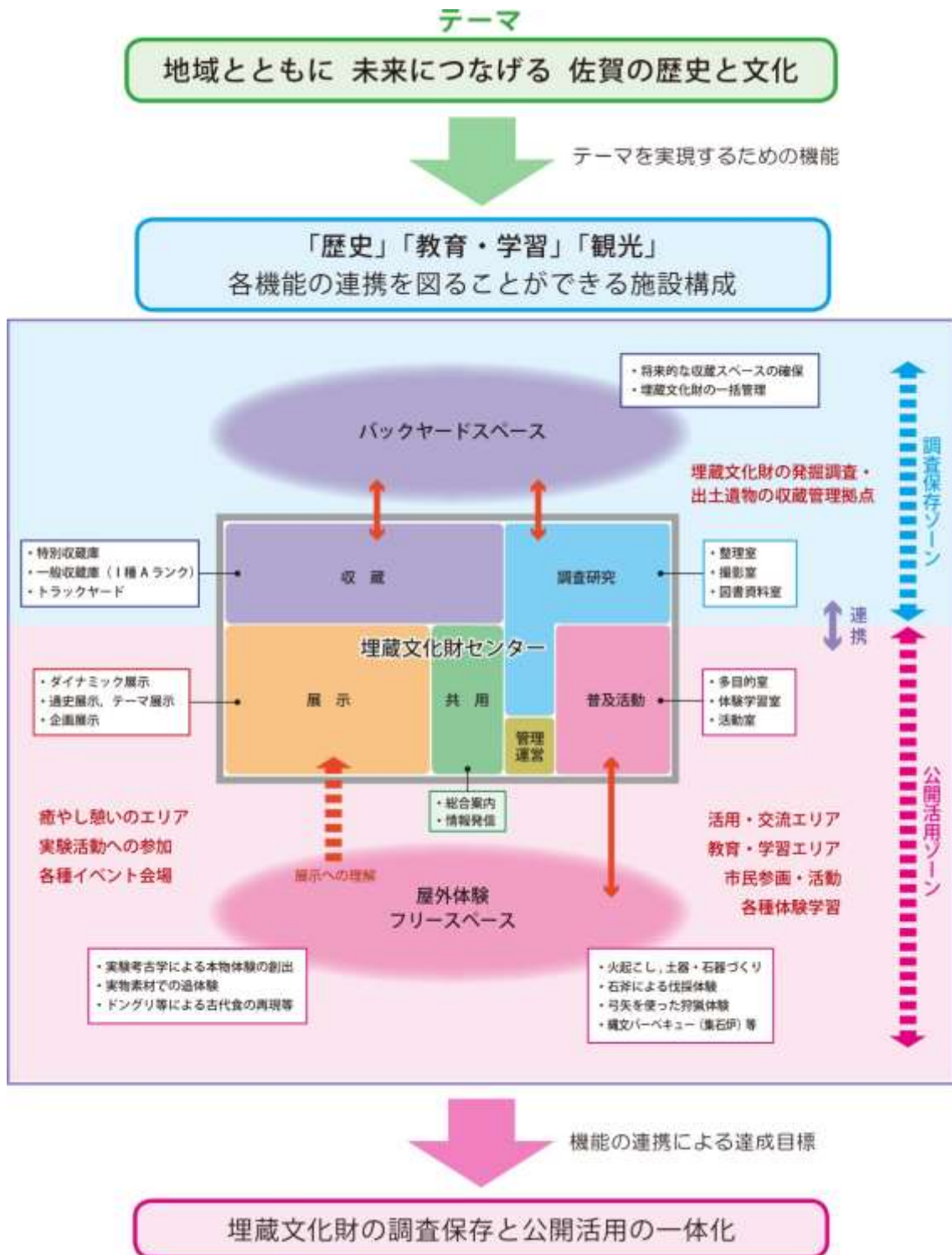
埋蔵文化財及び指定文化財が集中する「山麓文化エリア」に設置し、当該エリアのガイダンス施設として周辺文化財との連携を図り、さらに「山間文化エリア」及び「平野文化エリア」への来訪を誘発する。



佐賀市における文化財エリア

(4) 周辺環境整備の方向性

埋蔵文化財の調査拠点として、教育学習、観光振興に活かす施設として、その機能を十分に発揮できるよう周辺の環境整備を検討する。周辺環境を含めた施設全体を「調査保存ゾーン」と「公開活用ゾーン」の2つにゾーニングし、館内と館外の一体的な運営に配慮する。



2 展示計画

(1) 展示方針

- 「わかりやすい」をコンセプトに、大人から子どもまで親しみやすい展示。
- 参加・体験型の展示を構築。
- 可変性・柔軟性のある構成により、様々な活用が可能な展示を検討。

(2) 展示構成

- ① **ダイナミック展示** 遺跡の迫力をダイレクトに伝える。
 - ② **通史展示** 佐賀平野の独特な発達と遺跡の展開を解説。
 - ③ **テーマ展示** 国内最古級の多数の遺物が出土した東名遺跡などが中心。
 - ④ **企画展示** 定期的に様々なテーマ別の展示を行う。
- 展示解説を最小限に、映像や音声ガイド、タブレット端末の活用を検討。
 - ホール内に、様々な歴史や観光資源の情報を発信する「情報発信スペース」を設置。

3 事業活動計画

(1) 事業活動方針

- 埋蔵文化財センターの活動・運営に市民が積極的に参画できるように誘発する。
- 様々な活動を通して佐賀の歴史文化を探求し、その魅力を掘り起こし、市内外へと発信する。

(2) 主要事業の活動計画

「歴史探究」「学習支援」「観光交流」「市民サポーター育成」の4つの事業で構成。

① 歴史探究事業

【調査・研究活動】研究支援、実験考古学、書籍の刊行、講演会・シンポジウムなど

【展示活動】市民参画型展示など

【ツアー関連活動】展示解説ツアー、バックヤードツアー、文化財ガイド付ツアーなど

② 学習支援事業

【学校教育支援活動】出前授業、ふるさとミニ博物館、歴史資料の貸出、教員のための研修会など

【生涯学習支援活動】歴史講座、遺跡見学会、歴史相談窓口、考古倶楽部など

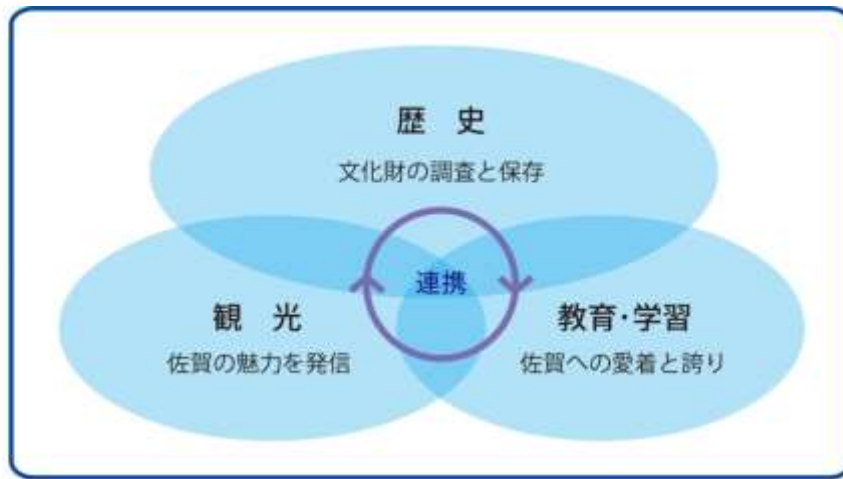
【体験学習活動】貝輪づくり、編みかごづくり、土器・石器づくりなど

③ 観光交流事業

【情報発信活動】総合案内、観光情報発信、近隣施設との交流など

【イベント活動】芸能祭、縄文祭り、古代食祭りなど

④ 市民サポーター育成事業



「歴史」「教育・学習」「観光」の連携を図る4つの事業活動を展開



4 管理運営計画

(1) 管理運営の方針

- 市民・来館者のニーズを把握しながら柔軟な活動を展開し、効果的かつ効率的な施設運営を実現。
- 関係機関との連携・交流が円滑に行える体制づくりを推進。

(2) 管理運営形態と体制

- ①管理運営形態 佐賀市の直営。部分的に外部委託や市民サポーターを活用。
- ②管理運営体制 職員を適正に配置し、円滑な運営が行える体制づくりを行う。
- ③支援協力体制 市民参画型管理運営を推進。支援協力体制の構築。運営協議会等の設置を検討。

(3) 開館形態

- ①開館日・開館時間 利用者の立場に立って柔軟に設定。
- ②施設使用料 入館は基本的に無料。展示室やイベント時などは必要に応じて有料化を検討。

◆これからの流れ

1 パブリックコメントの実施 《検討中》

[意見募集期間]

[意見募集告知]

[資料閲覧場所]

2 参 考

(1) 基本構想・基本計画策定の経過

《基本構想等検討委員会》

平成28年度 ◇第1回検討委員会：2月1日 [スケジュール、基本構想に係る検討]

平成29年度 ◇第2回検討委員会：3月9日 [基本計画に係る検討]

◇第3回検討委員会：4月21日 [基本計画に係る検討]

◇第4回検討委員会：6月19日 [基本計画に係る検討]

◇第5回検討委員会：8月7日 [基本構想・基本計画総括]

《今後のスケジュール》 検討中

(2) 基本構想等検討委員

【任期：平成29年1月20日～平成30年3月31日】

	氏名	専 門	所属等	委員会職務
1	アラマキ グンゾ 荒牧 軍治	まちづくり等	佐賀大学 名誉教授	委員長
2	コフモト マサユキ 甲元 眞之	考古学	熊本大学 名誉教授	副委員長
3	シゲフサ テルユキ 重藤 輝行	考古学	佐賀大学 芸術地域デザイン学部 教授	
4	アカシ ヨシヒコ 赤司 善彦	考古学	九州歴史資料館 企画主幹	
5	サトウラ トオル 里浦 徹	観 光	JTB九州 佐賀支店 支店長	
6	エグチ ヒロフミ 江口 浩文	教 育	佐賀市立 循誘小学校 校長	
7	イケダ ユヨシ 池田 剛	行 政	佐賀市役所 企画調整部 明治維新150年事業推進室長	

埋蔵文化財センターの施設構成及び展示構成イメージ

1. 施設構成

施設運営の主要な柱である「歴史」「教育・学習」「観光」を連携させるため、6エリアを設定し、文化財の調査保存と公開活用との一体化を図る。

「収蔵エリア」は資料収集・資料保管の場で、トラックヤード、収蔵庫等を設置。「調査研究エリア」は発掘調査・調査研究の場で、整理室、図書資料室等を設置。「展示エリア」は展示公開の場で、各種展示室、ダイナミック展示等を設置。「普及活動エリア」は学校教育・生涯学習支援、市民参画・活動の場で、多目的室、体験学習室等を設置。「共用エリア」は様々な情報発信や来館者の利便性を図る場で、ホール・ロビー、トイレ等を設置。「管理運営エリア」は施設の管理運営の場で、事務室等を設置。

2. 展示構成

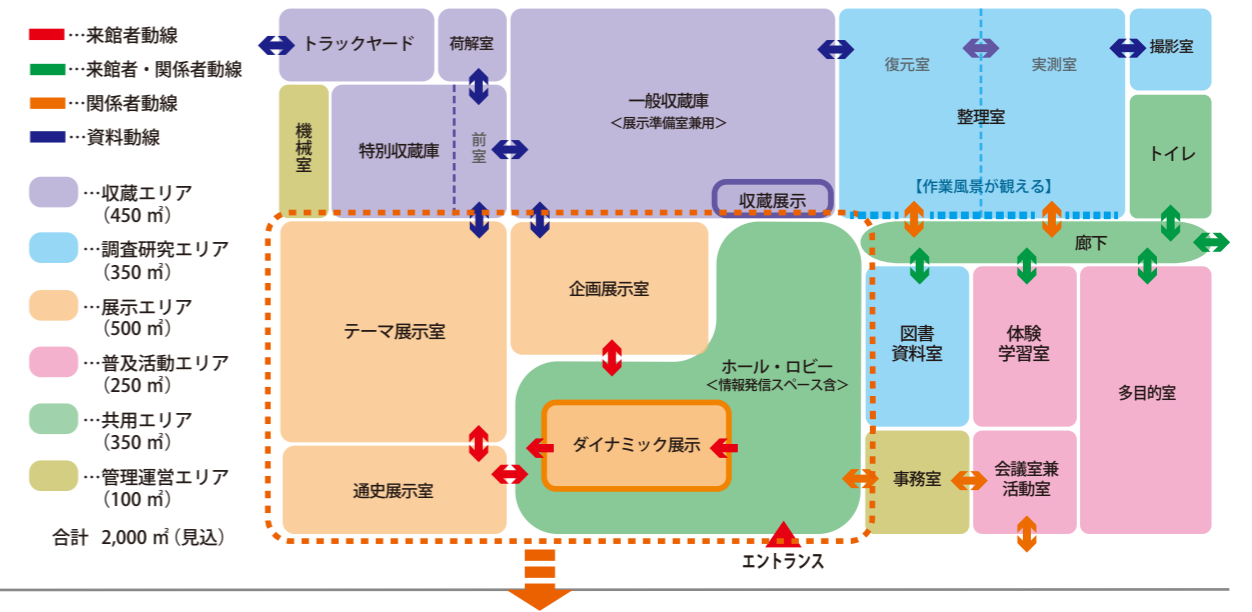
【ダイナミック展示】 巨大な貝層の立体剥ぎ取りなどのダイナミックな展示をホールで行うことで、来館者にインパクトを与え、遺跡の迫力を伝えるとともに、展示室へのスムーズな導入を促す。《常設展示》

【通史展示】 プロジェクションマッピング等の映像を活用したプロローグと一体的な通史展示を行い、佐賀平野の独特な発達と遺跡の展開を概観する。東名遺跡が佐賀平野形成の原点であることなども紹介。《常設展示》

【テーマ展示】 例えば「東名遺跡と縄文文化」をテーマに、ジオラマや貝層の剥ぎ取り、貯蔵穴の立体剥ぎ取りや編みかごを活用し、わかりやすく、インパクトのある展示を行う。縄文と弥生・古墳等との比較展示も行う。《常設展示》

【企画展示】 常設しない収蔵物の展示、発掘調査や研究の最新情報等を展示する。誰もが参加しやすい自由なテーマ設定での企画を検討。《年数回展示更新》

■施設構成イメージ



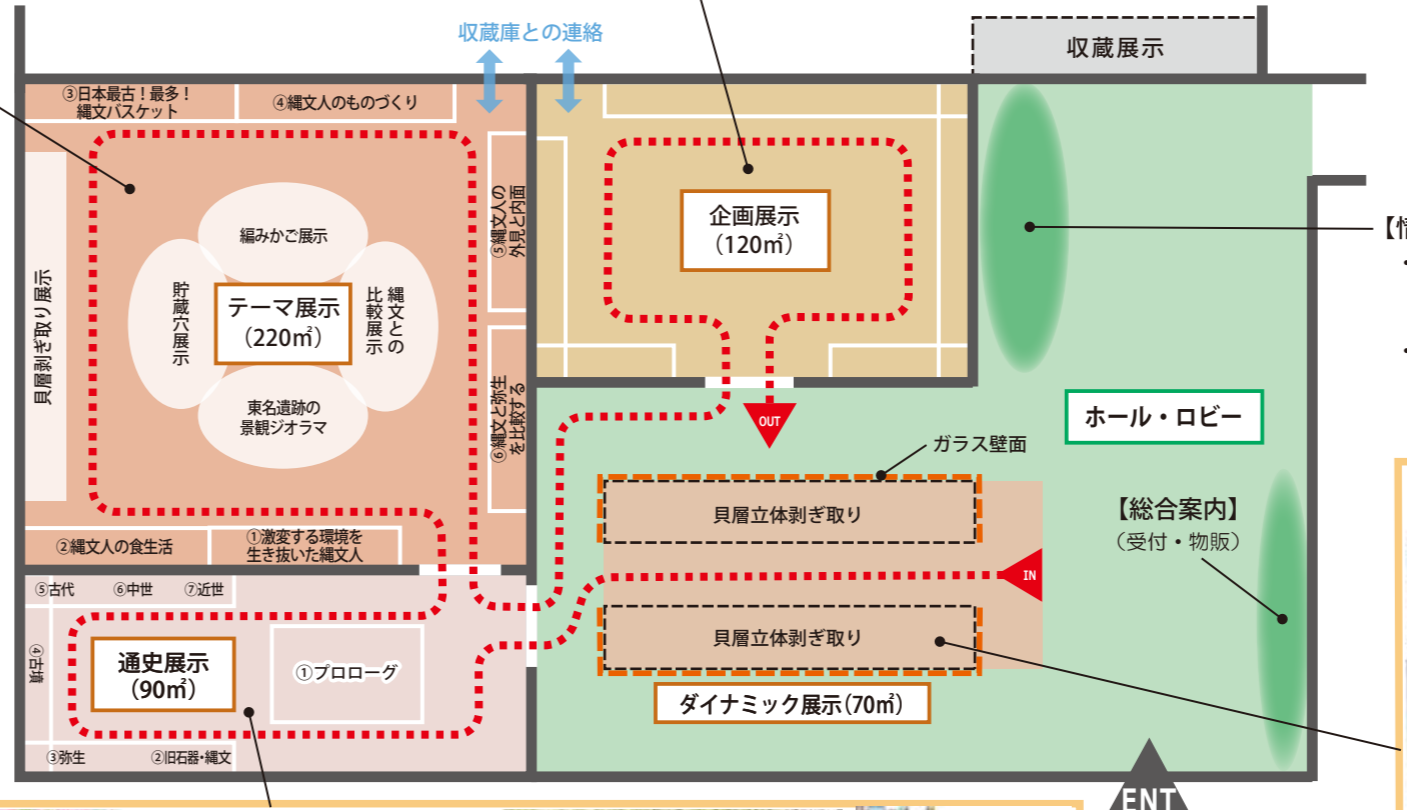
■展示構成イメージ

【テーマ展示例】
「東名遺跡と縄文文化」
・東名遺跡から出土した国内最古級の多種多様な遺物を中心に展示。リアルな縄文の世界を紹介する。

- ① 縄文の食生活
- ② 縄文の暮らし
- ③ 日本最古! 最多! 縄文バスケット
- ④ 縄文人のものづくり
- ⑤ 縄文の食生活
- ⑥ 縄文の暮らし
- ⑦ 縄文の暮らし

④ 貝製アクセサリー
⑤ 人面状木製品
③ 縄文バスケット
④ 骨角製アクセサリー
⑤ 埋蔵人骨レプリカ
貯蔵穴立体剥ぎ取り
SK2106貯蔵穴
東名遺跡当時の景観イラスト
縄文カレンダー
② ドングリ貯蔵穴

【企画展示例】
「大陸文化の流入と弥生文化」
青銅器と朝鮮系無文土器の甕棺(左:本村龍遺跡, 右:増田遺跡) 細形銅剣と銅型(鍋島本村南遺跡)
「肥前国風土記と古代文化」
熊本山古墳出土遺物 古墳時代の土器(右)



【情報発信スペース】
・映像等を活用し、地域の歴史や観光情報をリアルタイムで提供。周辺遺跡のガイダンスを行い、現地見学を誘発する。
・収蔵資料や関連書籍等の検索が行えるようなコーナーも設置する。

【ダイナミック展示例】
《長さ11m, 幅1.5m, 高さ2.5m×2 (1対)》

貝層立体剥ぎ取り組み立てイメージ

【通史展示例】
・プロローグでの映像解説と一体的な通史展示を行う。旧石器～近世。

- ① 佐賀平野の発達と遺跡の展開
- ② 縄文の暮らし
- ③ 弥生
- ④ 旧石器・縄文
- ⑤ 古代
- ⑥ 中世
- ⑦ 近世

⑤ 築山瓦経
④ 石塚山1号墳出土土掛甲と馬具
③ 多鈕細文鏡(増田遺跡)
① 佐賀平野の発達と遺跡の展開

・プロローグでは、プロジェクションマッピング等及び映像と音声による通史解説を行う。
(佐賀平野の発達と遺跡の展開)
・東名遺跡は有明海の干潟を利用した人類最古の痕跡。佐賀平野形成の原点であることを紹介。

① 温暖化による海面上昇

ENT

ガラス壁面

ホール・ロビー

【総合案内】
(受付・物販)

ダイナミック展示 (70㎡)

企画展示 (120㎡)

テーマ展示 (220㎡)

通史展示 (90㎡)

収蔵展示

ENT

貝層立体剥ぎ取りの現状 (3分割)

第1貝塚1Eトレンチ周辺(現地)